令和２年度３学期始業式　校長式辞

皆さんあけましておめでとうございます。
令和３年の学校生活が始まりました。１３日間の冬休みをどのように過ごしまたでしょうか。新しい年を迎え、新たな決意を胸に今、始業式に臨んでいることと思います。

今朝のことですが、清々しい気持ちで３学期のスタートを迎えることができました。
私が校舎に向かう途中に朝練習の野球部の生徒から、「あけまして、おめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします」と深々とお辞儀をし、私も同様に年始の挨拶とともにお辞儀を交わしました。挨拶にはその場その場の意味を含んでおり、大切なこととあらためて感じた。本当によい朝を迎えることができました。そして、この３学期始業式に、このように皆さんの元気な顔を見ることができて、私はとても嬉しく感じています。

さて、新しい年を迎えると、よく「今年の決意または抱負は何ですか？」と聞かれることがあります。皆さんはどのように答えますか？
そこで、「一年の計は元旦にあり」という、よく耳にする言葉があります。この言葉に因んだ話をします。

「一年の計は元旦にあり」これを読み解くと、「計」は計画の計の文字です。元旦は元日の午前中を指します。つまり、「この一年どのような目標をもって、その目標に向かって生きていくかを元日の午前中に決めよ。」ということです。
ところが「一年の計は元旦にあり」には続きがあり、「一生の計は少荘にあり。」
「少荘」という難しい言葉があるが、言い換えると、若くて元気な時期のこと。つまり、青年期の今の皆さんを指しています。

「一年の計画は元旦に立て、一生涯の人生設計は、今の皆さんの青年期に確立しなさい。」ということです。
一年の「計」はもちろん大切であるのですが、長期の展望である「一生の計は少荘にあり」を胸に刻んで、この内海高校での日々を大切に過ごしてほしいと思います。

３年生は卒業式まで残り２ヶ月弱です。最後まで１・２年生に手本を示して、立派な卒業式を迎えてください。
２年生は１月下旬に修学旅行を控えています。大成功で終えるとともに、進路について真剣に考え３年生への準備をしてください。
１年生は３ヶ月後には後輩が入学してきます。内海高校をしょって立つ中堅学年としての準備をしてください。

これからも引き続き、新型コロナの感染防止に努めた行動をとり、令和３年が、みなさんにとって、そして内海高校にとって良い年となることを祈念して、始業式の式辞とします。